

APEC財務大臣会合議長への書簡



2010年9月16日

APEC財務大臣会合議長
日本国財務大臣
野田 佳彦 閣下

大臣閣下、

APECビジネス諮問委員会（ABAC）を代表し、APEC財務大臣への2010年版ABAC報告書を謹んで提出いたします。私どもは、ABACがこの数年間に亘りAPEC財務大臣と発展させてきたすばらしい関係、および財務担当高級実務者との協力が深まったことに、大きな価値を置いております。札幌フォーラムは私たちの緊密な協力のすばらしい例であり、このフォーラムから私どもは今年の大変重要な提言の一部を得ました。私どもは、来る11月6日に京都において財務大臣との対話を再度持てる機会に感謝しております。また、今日私たちが直面している重要な諸問題に関し、域内の金融業界からの考え方及び見解について財務大臣とお話しできることを楽しみにしております。

今年、ABACは均衡ある、あまねく広がる、持続可能で、革新的かつ安全な成長戦略を描くことに注力しました。こうした目的のもと、私どもの報告書に盛り込まれている提言が作成されており、この報告書にはご留意頂きたい3つの重要な分野が反映されるように構成されています。

第一に、私どもは、前例のない金融危機後の世界経済の回復の萌芽と、とりわけ欧州における最近の難局のために、**APEC参加国・地域間における出口政策と政策協調**の重要性を強調します。私どもは、緊密な世界規模の協調を維持する一方で、各参加国・地域の特定の状況を反映した出口政策を実施する時期を注意深く選定しつつ、財政の持続可能性を回復するための確かな中長期計画の策定を要請します。

第二に、私どもは、**地域金融統合**をさらに促進しなければならないと考えます。APEC参加国・地域は、域外で発生する緊急事態に対して十分な準備を整えなければなりません。今年3月に発効したチェンマイ・イニシアティブのマルチ化（CMIM：Chiang Mai Initiative Multilateralization）契約はこの目的達成に向けた偉大な一歩ですが、クロスボーダー有価証券担保管理スキームを含む更なるイニシアティブにも今後着手しなければなりません。

第三に、私どもは、域内の資本市場を強化・深化させるキャパシティ・ビルディング努力を進めるために、国内外における努力を継続することを提言します。私どもは、イスラム金融と従来型の金融システムの共存は、多様化を促進することによって金融システムの強靱性を一層促進できるものと考えます。私どもは、域内におけるインフラに関する官民連携の成長を促進するための先駆的イニシアティブとして、インフラに関するアジア太平洋地域パートナーシップ（APIP：Asia-Pacific Infrastructure Partnership）の創設を要請します。私どもは、特定投資家だけが参加できるホールセール証券市場の創設を含む様々なイニシアティブを通じて、債券・株式市場をさらに促進することを提案します。私どもは、国際会計基準審議会（IASB：International Accounting Standards Board）との適切なコミュニケーションを確保することによって、国際財務報告基準（IFRS：International Financial Reporting Standards）の導入について議論するために、APEC内にタスク・フォースを設置することを要請します。私どもは、経済ピラミッドの最下層に属する人々に十分な注意を払い、環境ファイナンスと中小・零細企業向けファイナンスを促進するために適切な法律の枠組みを実施する上で、公的部門が果たす役割の重要性を強調します。

この報告書に盛り込まれているこれらの提言の他に、私どもは、とりわけ資本とレバレッジを含む重要な指標の水準を決定するために、金融改革と規制の変更に関する一層の官民対話の継続も要請します。

私どもは、アジア太平洋地域が世界経済の重要な成長センターとなるべきであると確信しています。私どもは、域内において健全な経済環境を促進するためのAPEC財務大臣の協調した努力の継続に対する支援を再確認し、今後ともAPEC財務大臣との協力を一層強化できることを期待しています。

敬具

2010年ABAC議長
相原元八郎

ABAC金融・経済作業部会長
渡辺喜宏